

安倍元首相 追悼 再掲載

日刊サン 2016年12月29日 掲載記事

安倍晋三元首相(67)が、2022年7月8日午前11時半ごろ(日本時間)、奈良市内で参院選の街頭演説中に銃撃され、搬送先の奈良県立医科大学付属病院で同日午後5時3分、逝去されました。日刊サンでは、追悼の意を込めて、2016年12月に安倍首相(当時)が、真珠湾やパンチボウル国立太平洋記念墓地などをめぐり、慰霊に訪れた際の本紙掲載記事を、再掲載いたします。

安倍首相がハワイ訪問 真珠湾、墓地をめぐり慰霊

1日目は米兵墓地などで献花

安倍晋三元首相がハワイを訪れ、26日と27日の二日間、太平洋戦争などの犠牲者を悼んだ。

26日は同行した岸田文雄外相、稲田朋美防衛相とともに米国国立太平洋記念墓地(パンチボウル)、マキキ日本人墓地、カカアコにあるえひめ丸慰霊碑、カネオヘ米海兵隊墓地にある飯田中佐記念碑を訪れ、献花し黙祷を捧げた。

レセプションで日系人へ敬意を示す

26日夜は地元日系人とのレセプションが開催され、約1,000人の日系人や日本人コミュニティ関係者が招待された。

首相が到着すると、全員が起立して大きな拍手で迎えた。ドーン・イゲ知事夫人にレイを掛けられ、デイビッド・イゲ知事からはバイナッフル型のウクレレを贈られ、笑顔で応えた。その後、退役軍人やその家族らのテーブルを回り、声を掛けて握手をした。

ハワイ式の祈りであるハワイアンチャントが披露された後、首相がステージに立った。「アローハ!」とあいさつすると、会場からは大きな声で「アローハ」と歓迎の言葉が返ってきた。



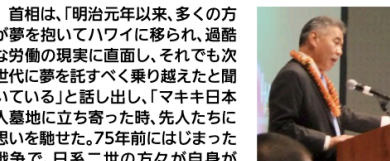
イゲ知事より贈られたバイナッフル型のウクレレを弾くをみる安倍首相



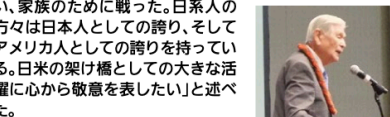
ドーン州知事夫人(右)にレイを掛けられ、握手をする安倍首相



レセプションで安倍首相は約1,000人の招待客を前に20分を超えて言葉を述べた



「日本とハワイは家族の関係だ」とあいさつしたイゲ州知事



「個人的に安倍首相を尊敬する」と話したドーン州知事

首相は、「明治元年以来、多くの方が夢を抱いてハワイに移られ、過酷な労働の現実と直面し、それでも次世代に夢を託すべく乗り越えて来られている」と話し出し、「マキキ日本人墓地に立ち寄った時、先人たちに思いを馳せた。75年前にはじまった戦争で、日系二世の方々自身が育った国であるアメリカに忠誠を誓い、家族のために戦った。日系人の方々日本人としての誇り、そしてアメリカ人としての誇りを持っている。日米の架け橋としての大きな活躍に心から敬意を表したい」と述べた。

また、ハワイについては「憧れの地」と言い、「祖母のいとこが戦前の山口県からの移民である」と明かした。幼少の頃の思い出として「ハワイから、貧しい日本に送ってくれたのがお菓子のレイ。キャンディーやチョコレートが入ったレイで、こんなにおいしいものをハワイの人は毎日食べているのか。それなら絶対行きたいと思った」と話し、会場から笑い声が上がった。

さらに「そんな憧れの地に首相として訪問し、日系人の皆さまとこうして同じ時間を過ごせることを嬉しく思っている」と喜びの気持ちを伝えた。

最後に、「明日は真珠湾を訪問し、和解の力を日米、世界に示したいと思っている。希望の同盟として、世界のさまざまな課題に取り組んでいきたい」と翌日への決意を表明した。

続いてイゲ知事があいさつをした。「安倍首相のハワイ訪問を心から歓迎する。ハワイと日本はビジネスの関係にとどまらず、友情をも超えている。私たちは家族。75年前、私たちの国は戦争をしたが、明日、安倍首相とオバマ大統領は真珠湾を訪問される。これは我々2国間の和解とパートナーシップのメッセージを意味している。もっとも重要なことは、未来へのよりよい道筋を探ることに私たちがコミットしているということと述べた。

また、首相に贈ったウクレレについては「以前、東京でお会いした時にバイナッフルについて話をさせていただいたので、バイナッフルの形のウクレレをプレゼントしたと思った」と微笑みながら説明した。

最後にあいさつをしたのはアリヨシ元州知事。冒頭は日本語で「安倍首相

パンチボウルで花を手向ける安倍首相



パンチボウルに到着し、献花に訪れた安倍首相。右は同墓地のポートランド所長、左は稲田防衛相

が来られたことをとても喜んでいて。アメリカ、日本のため、太平洋の国々のために努力してくださり、感謝している」と話した。

戦後の日本へ占領軍の一員として行った際、戦争を与えた悲惨な影響を目にしたこと、新しい日本に民主主義をもたらす取り組みをしたアメリカに対して日本が感謝をしていたことなど、自身の経験からエピソードを語り、「日本人が持つ礼儀正しさを見て、彼らが誇りを持って生きていくと感じた時、日本は早く復興を遂げると実感した」と語った。

「アメリカと日本の緊密な関係を構築することができた。明日、首相は真珠湾を訪問する。首相がハワイを訪れたという事実は素晴らしいこと。これにより日米関係はより近くなり、発展する。首相に敬意を表したい」と述べ、「今日、平和のために列席されたすべての皆さまに感謝している」と締めくくった。

首相はこの後、岸田外相と稲田防衛相とともに全員のテーブルを回り、記念撮影をして招待客と触れあい、レセプションはお開きとなった。

オバマ大統領と真珠湾で献花 和解の力を世界へ

27日午前、首相は来年1月に任期満了を迎えるオバマ大統領との最後の首脳会談を行った。その後そとで真珠湾のアリゾナ記念館を訪問。献花し、黙祷を行って犠牲者を慰霊した。

さらに首相と大統領は、アリゾナ記念館に臨む埠頭へ移動して演説を行った。

最初に首相が「真珠湾攻撃によって失われた勇者の命に哀悼の誠を捧げたい。戦争の惨禍は二度と繰り返してはならないと誓った。不戦の誓いという不動の方針をこれからも貫いていく」と決意を述べた。また、「アメリカが戦後の日本が国際社会へと復帰する道を開いてくれた。寛容の心で、敵として戦った日本人に手を差し伸べてくれた」と述べた。そして「日米が深く強く結ばれて同盟国になった『和解の力』を世界に訴えていきたい」と表明した。

続いてオバマ大統領は、「和解の力により首相が真珠湾を訪問してくれた」と謝意を述べ、「敵対していた国が同盟国となった」と日米の友情と平和の強固な同盟関係を強調した。

在ホノルル日本国総領事 青木総領事メッセージ

2022年7月8日(日本時間)、安倍晋三元内閣総理大臣が逝去されました。安倍晋三元内閣総理大臣は、2016年、「自由で開かれたインド太平洋構想」を提唱し、この地域の平和と繁栄に向けた国際的な協力の構築に多大な貢献をされました。

安倍晋三元内閣総理大臣は、2016年12月、ハワイ州オアフ島を訪問し、オバマ大統領とともに真珠湾においてステートメントを行い、二度と戦争の惨禍を繰り返してはならないとの決意を表明すると共に強固な日米関係を実現させた和解の力の重要性を発信しました。

在ホノルル日本国総領事として、私は、ハワイとの関係も深い安倍晋三元内閣総理大臣の御逝去に深い哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

令和4年7月8日 在ホノルル日本国総領事館

在ホノルル日本国総領事館は、以下のとおり弔問記帳を受け付けます。

【日時】 7月11日(月) / 7月12日(火) 9:00~18:00
【場所】 在ホノルル日本国総領事館・総領事公邸
1742 Nuuanu Ave. Honolulu, HI 96817

岸田内閣総理大臣の談話

令和4年7月8日

本日、突然の噩行により、元内閣総理大臣安倍晋三(しんぞう)氏が、逝去されました。民主主義の根幹たる選挙が行われている中、安倍晋三氏の命を奪った卑劣な行為は、断じて許されるものではなく、最も強い言葉で非難します。

安倍晋三氏は、憲政史上最長となる8年8か月にわたり、卓越したリーダーシップと実行力をもって、厳しい内外情勢に直面する我が国のために、身命を賭して、内閣総理大臣の重責を担われました。

東日本大震災からの復興、「関係全員が復興大臣である」、「東北の復興なくして、日本の再生なし」との決意の下、その加速化に力を尽くされました。

我が国が長年苦しんできたデフレからの脱却。大胆な金融緩和、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」からなる経済政策を推進し、日本経済の再生に大きく貢献されました。

国際情勢が厳しさを増す中での外交・安全保障政策。強固な日米同盟を基軸として「地球儀を俯瞰(ふかん)する外交」を展開し、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け精力的に取り組まれるとともに、平和安全法制の整備に尽力され、我が国と世界の平和と繁栄に向けた礎を築かれました。

「働き方改革」、「全世代型社会保障」、「一億総活躍社会」など、時代の大きな流れを捉え、常に時代の一步先を見渡し、この国の未来を切り拓(ひら)くための大きな実績を様々な分野で残されました。

突然の訃報に接し、悲しみの念を禁じ得ません。ここに、国民の皆様とともに、心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。